



本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社Web (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。 サンワサプライ株式会社

## 目次

1. 極小レーザーワイヤレスレーザーマウスの接続手順
2. 特長
3. 安全にご使用いただくために
4. 健康に関する注意
5. 警告
6. 対応機種・対応OS
7. マウスの準備(電池の入れ方)
8. マウスの接続(USB接続の場合)
9. ID(チャンネル)の設定方法
10. 本製品の使用方法
11. 「故障かな…と思ったら」
12. 保証規定

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>



本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社Webサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

## サンワサプライ株式会社 2009.11現在

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1  
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123

東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8  
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033

札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌  
TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990

仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区権町1-6-37 宝栄仙台ビル  
TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633

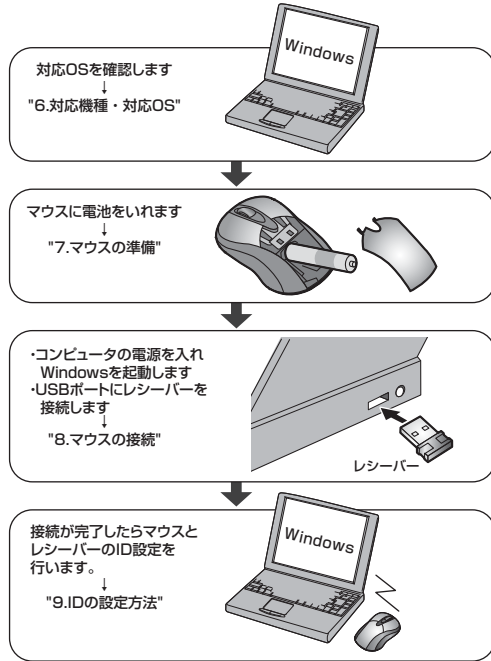
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7 カジヤマビル  
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033

大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区豊原4-1-45 新大阪八千代ビル  
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315

福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 2階博多相互ビル  
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

## 1. 極小レーザーワイヤレスレーザーマウスの接続手順

●マウスを接続するポートにより異なります(詳細は各項目をご覧ください。)



## 2. 特長

この度は、極小レーザーワイヤレスレーザーマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるという煩わしさもなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、高性能レーザーエンジンを搭載した次世代のマウスです。光学センサーでは識別しにくかった光沢感のある素材の表面を読み取ることが可能で、様々なシーンで威力を発揮します。本製品はノートパソコンに差したまま持ち運べる極小レーザーと手のひらにすっぽりと収まる極小マウスで、モバイル・携帯に最適です。本製品は、使うシーンに合わせてカーソルスピードを1600カウント、1200カウント、800カウントに簡単切替えが可能です。

※ご購入前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。



## 3. 安全にご使用いただくために

本製品は、IEC60825-1 Edition 1.2<sup>2001</sup>、JIS規格クラス1レーザープロダクトに準拠しています。本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。

- レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けしないでください。
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。
- 0℃~40℃の気温環境でお使いください。
- 本製品に衝撃を加えないようにしてください。
- 保証規定をよく読み正しくお使いください。

## 4. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 5. 警告

■テレビ/ラジオの受信障害について  
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、設置の設置状況によっては受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっていることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しにくい位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意  
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

## 6. 対応機種・対応OS

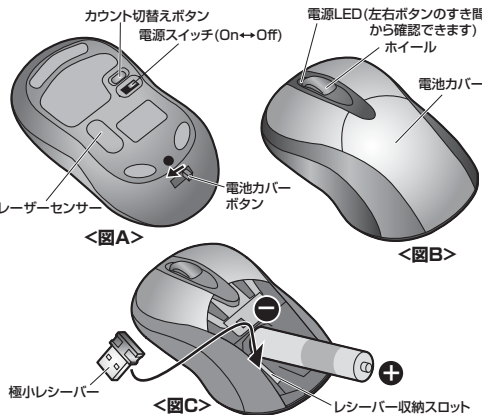
■対応機種  
●DOS/V(Windows搭載)パソコン  
●Apple Macシリーズ  
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

■対応OS  
●USB接続:Windows 7/Vista/XP/2000/Me/98SE/98及びMac OS X(10.2以降)  
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストパエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみスクロール可能です。またホイールボタン押下による動作はサポートしません。

※機種により対応できないものもあります。  
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

## 7. マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウス裏面の電池カバーボタンを矢印方向に押し、電池カバーを開きます。(図A、図B参照)
2. 付属の単四電池をマウスに入れます。(図C参照) ※正しい極性で入れてください。電池を入れた際、電源LEDが約3秒間点滅し、消灯します。(電源スイッチがOffの状態ではLEDは点滅しません)
3. 電池カバーを外した手順とは逆の手順で取付け、最後に電池カバー後部を上からカチッと音がするまで押しとロックできます。(図B参照)
4. ノートPCのUSBポートを開ける必要がある場合は、マウス内部のレーザー収納スロットに極小レーザーを収納できます。(図C参照)  
※マウスを動かしている際、電源LEDが点灯したら、電池が少なくなっていますので、すみやかに交換してください。電池交換の際は、単四アルカリ乾電池をご使用ください。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります)  
※空になった電池をマウス本体内部に置いておくと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。



## 8. マウスの接続(USB接続の場合)

■本製品をUSBポート接続する際の注意(Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず最初にUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



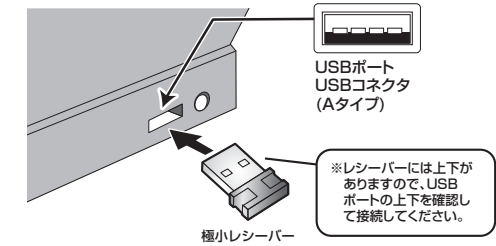
これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際にもありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

## ■BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合(Windowsの場合)

●BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。  
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

## ■レーザーを接続(Windowsの場合)

※注意:マウス用レーザーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお薦めします。  
①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。  
②レーザーをコンピュータのUSBポートに接続します。



③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

〈Windows 7の場合〉  
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows Vistaの場合〉  
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

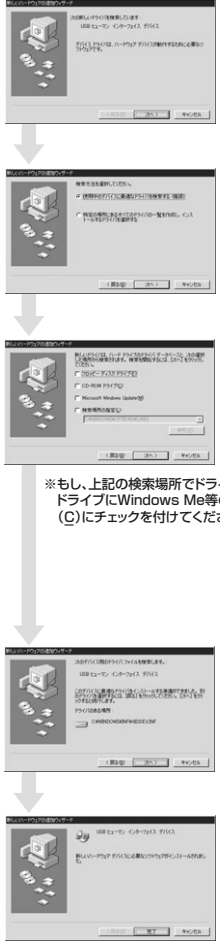
〈Windows XP/2000-Meの場合〉  
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



## 8. マウスの接続 (USB接続のつづき)

(Windows 98/98SEの場合)  
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。  
※Windows 98SE-98では、下記の作業が発生しますので、デスクトップパソコンの方はキーボード(もしくは他のマウス)が接続されている状態で行ってください。

### 新しいハードウェアの追加ウィザード



- 新しいドライバを検索しています。USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ)
- 検索方法を選択してください。  
①使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ)
- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。チェックボックスにチェックマーク(☑)を入力し、検索場所を聞いてきたら、  
☑ 検索場所の設定(L)  
C:\WINDOWS\INF ※  
もしくは、C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS  
※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows Me等のCD-ROMを挿入し、☑ CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。
- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ)
- USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了

※接続が完了したら、「9.ID設定方法」へ。

### ■レシーバーを接続 (Mac OS Xの場合)

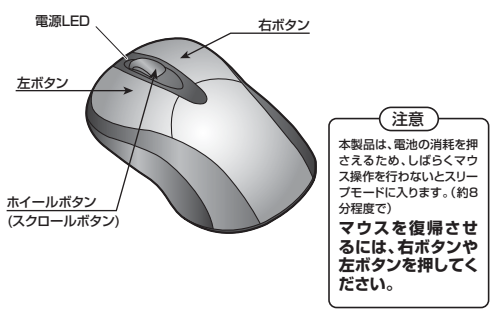
- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
  - ②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。
  - ③接続が完了したら、ID設定を行います。(「9.IDの設定方法」参照)
- ※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。

## 9.ID(チャンネル)の設定方法

- ※重要(必ずお読みください)
- レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。マウスを動かしても認識しないときはレシーバーを挿し直してください。
  - ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでない事があります。
  - 万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを挿し直してください。

## 10.本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽になります。本製品は、Microsoft IntelliMouse 互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



- 左ボタン・右ボタン  
左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごと設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。
- ホイール(スクロール)  
インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。
- ホイールボタン(スクロールボタン)  
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
- ズーム  
ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回させると、倍率が下がります。
- 1600/1200/800カウント(カーソルスピード)切替  
本体裏面のカウント切替えボタンを押すと、分解能を1200→1600→800カウントに切替えることができます。
- 電源LED  
レシーバーが接続された状態で電源スイッチをOnにすると、電源LEDが約3秒間点滅し、消灯します。マウスを使用中に電源LEDが点滅を繰り返したり、電源スイッチをOnにしても電源LEDが点滅を続けたら新しい電池に交換してください。



## 11.「故障かな…と思ったら」

- Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。
- A. 1.マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOffになっていないか確認してください。(「8.マウスの準備」参照)
  - 2.レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(「7.レシーバーを接続(Windowsの場合)」,「レシーバーを接続(Mac OS Xの場合)」参照)
  - 3.付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんが、新しい電池に交換してください。(「7.マウスの準備」参照)
- Q.マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。
- A. 本製品は、電池の消費を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。(約8分程度で)マウスを復帰させるには、右ボタンや左ボタンを押してください。
- Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。
- A. 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご利用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
  - 2.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご利用になってみてください。
  - 3.ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線混信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなる場合がありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを挿し直してください。
  - 4.レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。
- Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。
- A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。
- Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。
- A. 1.ハイカラーモードを選択してください。
  - 2.ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。そのため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

## 12.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご利用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ①保証書をご提示いただけない場合。
  - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ③故障の原因が取扱上の不注意による場合。
  - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

## MEMO